

平成25年度 第1回 社会教育委員会 議事録

日 時：平成25年5月24日（金）午前9時30分～午前11時35分

場 所：東浦町文化センター 視聴覚室

出席者：社会教育委員 梶川達彦、長坂典子、鈴木万里子、石原弘幸、久米清之、
田頭美紗子、川澄知里、万徳久志、恒川 渉、松下玲子
事務局 教育長、教育部長、生涯学習課長、中央図書館長、
スポーツ課長、生涯学習課長補佐、生涯学習指導員

欠席者：天野圭二委員

1 開 会

- ・事務局より、24年度末における異動者の紹介。

2 あいさつ

（1）教育長

- ・今朝、鶯の鳴き声を聞いた。東浦町の良い環境をうれしく思う。石浜西小学校の運動場南斜面の緑も鮮やか。よい環境で過ごす子どもたちは恵まれている。
- ・平素より各課の活動が町民に喜んでもらえることを願っている。本日の会議では各活動がさらに楽しく親しんでもらえるよう、委員の皆様の提言を願う。

3 委員長選出

- ・現在委員長代行を務めている石原弘幸委員を委員長に、全委員一致で推挙。
- ・新委員長挨拶
 - ・委員長代行として務めたここ2ヶ月で、委員長職の重さを痛感した。激務を務められた前委員長に敬意を表すると共に、今後のご指導を願う。社会教育は広範囲な分野。その中で、私たち委員の提言は重い意味がある。今後の協力をお願いしたい。
- ・前委員長挨拶
 - ・体調がととのわず退任させていただいた。これまでの協力に深く感謝する。

4 議 事

- ・議長 委員長

（1）平成24年度社会教育事業実績について

- ・資料を基に、概要を生涯学習課、中央図書館、スポーツ課各事務局より説明。

〔質疑及び意見交換〕

委員長 ・3つの課に対してまとめて意見をいただく。

委員 ・生涯学習課資料3頁「地域連携講座親子科学教室」とはどのような事業か。

事務局 ・愛知県主催事業に東浦町として申し込みをした単年度事業。科学実験は大変に好評だった。

委員 ・生涯学習課資料1頁「家庭教育推進補助事業」の講師である三浦浩子氏とはどのような方か。

- 事務局 ・三河地方の小中学校で教諭から校長まで務め、退職後は愛知教育大学で自主的に勉学をされた意欲的な方。現在は名古屋学芸大学教授。親業に詳しく、親子のコミュニケーションのとり方についての話は好評を得ている。
- 委員 ・生涯学習課資料8頁「出前講座」の実施回数は年々減っているようだが、PRが不足しているのではないか。
- 事務局 ・広報には努めている。しかし、毎回同じ内容であることも申し込みが減少している原因の一つではないかと考えている。
- 委員 ・何を聞きたいかという町民の要望をくんだり、講座タイトルも分かりやすくしたりしてはどうか。
- 事務局 ・来年度に向け、各課へ提言は伝えていく。
- 教育長 ・出前講座は多くある（55講座）。その中で、要望のあるものを実施している。どういう団体が要望をしているかに着目したい。同じ団体であれば、一度聞けばしばらくはいいということもあるのではないか。
- 委員 ・出前講座があることを知らないかもしれない。PTAなど、各団体に出前講座のPRチラシを配ってはどうか。
- 委員 ・消防関係の回数が多いのは、各コミュニティの訓練で活用しているからだと思う。
- 委員 ・ただ数字を読み上げての説明では質問をしづらい。今後の実績説明では、「今年の重点は〇〇であった。その結果は…である。」と説明してほしい。
- 事務局 ・出前講座については、講座名と内容が結びつかないのではないか。
- 事務局 ・講座名と内容を併記した一覧表にして配付している。配付先は町内の主な公共施設である。また、冊子の内容は、町HPでも公開している。
- 事務局 ・資料2部「まなびの森ひがしうら（講座・イベント編、サークル編）」を全員に配付。
- 事務局 ・かつては全戸配付であったが、予算の関係で現状のようにしている。配慮としては、冊子の題名を「生涯学習あんない」から「まなびの森ひがしうら」と親しみやすくしたこと、および、年2回配付するようにしたことである。ただ、出前講座については見直しが必要だと思っている。貴重なご意見と受け止めている。
- 委員長 ・すばらしい冊子である。
- 教育長 ・HPではなかなか見てもらえないという現状はある。予算は逼迫しているが、いろいろな団体に配付することも必要ではないかと考える。
- 委員 ・地区で独居・介護老人の学習会を行ったところ好評だった。こうした内容も出前講座にあるとよいのではないか。
- 委員 ・現在は、出前講座は、10名以上の団体でないと申し込みができない。ぜひ聞いてほしいという講座であれば、各コミュニティに働きかけをしてはどうか。
- 委員 ・コミュニティは年間行事が多く、新規の活動を入れるのは難しい状況にある。
- 委員長 ・すばらしい冊子ができあがっているので、機会があるごとにPRをお願いしたい。また、応募の仕方、講座の内容もさらなる工夫をお願いしたい。
- ・「(1) 実績」の協議については以上とする。
- *中央図書館、スポーツ課に対しては質問・意見は無し。

(2) 平成 25 年度社会教育事業計画について

- ・資料を基に、生涯学習課、中央図書館、スポーツ課各事務局より説明。

〔質疑及び意見交換〕

委員長 ・ 3つの課に対してまとめて意見をいただく。

○生涯学習課に対して

委員 ・ 資料 13 頁「こども歴史教室」については、昨年要望したが、実施計画に
いれていただき大変ありがたい。

委員 ・ 「初心者パン講座」では初心者の申し込みは少なく、前年度受講した人が
多いのではないか。再度申し込む人はどれほどいるのか。

事務局 ・ 文化センターの講座では少ないが、各コミュニティで行う「初心者パン講
座」「初心者ヨガ講座」等に対しては、二度三度と申し込む人は多い。地
区で行う講座を整理したり、同好会を作って自主的に活動することを勧め
たりしているが、こうした初心者講座を何度も受講する人は多い。

委員 ・ 講師を変えるとこうした流れも変わるのではないか。

事務局 ・ 今年は、プロのケーキ作り職人を講師に招くことも考えている。

教育長 ・ かつて、愛知県事業として、プロの業者を講師に招いて、和菓子作りや寄
せ植え、機織りを行ったところ大変に好評だった。

委員 ・ 固定化すると、同じ人だけが恩恵を受けることになる。目新しくしていく
ことはいいと思う。

教育長 ・ 一度休止することも含め、検討したい。

○中央図書館に対して

委員 ・ 資料 4 頁「感想文書き方講座」はとてもいい。が、1・2年生は対象とし
ないのか。

事務局 ・ 本年度新規事業として3・4年生を対象に行い、その状況から判断してい
く。現状では、1～2回講座で1・2年生に書き方を習熟させられるのか
未知数である。

委員 ・ 字を書くのもおぼつかない1年生は難しいと思う。家庭では夏休みの読書
感想文は難解な課題と考えていると思う。助力があればありがたい。

教育長 ・ 全員に提出させる「夏休みの読書感想文」は、学校の授業で書き方が十分
に身についていない段階では、保護者に苦勞をかけているかもしれない。
ただ、自分自身の経験では、小学校1年生で「野口英世」についてのすば
らしい感想文を書いた子がおり、とても印象に残っている。この子はもと
もと文章力があり、家の方の助力はなかったと思う。このように、1年生
でも書ける子はあるが、すべての子に提出を求めるのは検討が必要であり、
町校長会でも話題にしていきたい。この感想文講座は認めてほしい。

委員長 ・ 自分自身も、小学生の頃は、夏休みの読書感想文には苦勞した。この講座
は素晴らしいと思う。

委員 ・ 説明されたキャラクター「よむらび」はいい。東浦町独自のものか。

事務局 ・ 中央図書館職員が考えた独自のものである。

委員 ・ 読書離れを防ぐために、町内の学校でこのキャラクターを導入するとか、
新しい取り組みに生かしてほしい。

- ・電子書籍について、図書館の中からアクセスできるようにならないか。
- 事務局　・現在、2階にはインターネット用のパソコンを置いているが、電子書籍の活用は、著作権の問題や対象書籍が少ないなどのために、していない。
国の動向をもう少し見極めたい。将来は、電子・紙媒体の併用を考えていきたい。

○スポーツ課に対して

- 委員　・資料 15 頁予算「活動助成金」とはどこから払われるものか。
- 事務局　・これは、体育協会の予算書で、入会するときに徴収した会費 300 円を参加会員一人 300 円あてで支出している。
- 委員　・資料 15 頁予算書については、さらに分かりやすくなるよう配慮してほしい。
- 委員長　・他に、意見は無いようであり、「（２）計画」の協議については以上とする。

（３）その他

- 委員長　・その他の議事及び追加の発言が無いことを確認し、協議の終了を宣言。

５　閉会